

## 保険適用後の不妊治療に関するアンケート 2022

**Q1. あなた自身について教えてください。【必ず回答（1つ選択）】**

- 2022年4月より前から、検査や治療を継続中
- 2022年4月以降に、検査や治療を開始
- まだ検査や治療は始めている
- 2022年3月までに治療終了

**Q2. 2022年4月より前に、あなた自身が受けていた治療等を教えてください。【必ず回答（複数選択）】**

- 不妊の検査
- タイミング指導
- 人工授精
- 採卵
- 体外受精
- 顕微授精
- 胚凍結
- 胚移植
- 不育症の検査
- 不育症の治療
- 男性不妊の検査
- 精子回収術
- 精子回収術以外の、男性不妊の治療
- その他（コメント記入は必須）

**Q3. 2022年4月以降に、あなた自身が受けている（受けた）治療等を教えてください。【必ず回答（複数選択）】**

- 不妊の検査
- タイミング指導
- 人工授精
- 採卵
- 体外受精
- 顕微授精
- 胚凍結
- 胚移植
- 不育症の検査

不育症の治療  
男性不妊の検査  
精子回収術  
精子回収術以外の、男性不妊の治療  
その他（コメント記入は必須）

**Q4.あなたがいま受けている治療の、自己負担の割合について教えてください。【必ず回答（1つ選択）】**

3割負担(保険診療)  
10割負担(自由診療)  
3割負担+10割負担（保険診療+先進医療）

**Q5.あなたが今受けている治療が、10割負担（自由診療）である理由を教えてください。【必ず回答（1つ選択）】**

年齢制限のため  
回数制限のため  
治療内容が保険適用外のため  
その他（コメント記入は必須）

**Q6.あなたが支払っている医療費は、保険適用前と比べてどうなりましたか？【必ず回答（1つ選択）】**

とても増えた  
少し増えた  
変わらない  
少し減った  
とても減った  
わからない

**Q7.あなたは、今、受けたい治療を受けられていますか？【必ず回答（1つ選択）】**

はい  
いいえ  
わからない

**Q8.2022年度（令和4年度）から不妊治療が保険適用となることに伴い、国の助成制度は廃止されましたが、2021年度（令和3年度）までと同条件等の助成制度を、引き続き行なっている（あるいは新規で設定した）自治体もあります。2022年4月以降、あなたは自治体独自の助成金を受けていますか？【必ず回答（1つ選択）】**

はい

いいえ

住んでいる自治体に、助成金があるのか（ないのか）を知らない

住んでいる自治体には、助成金がない

**Q9. 保険適用になって「良くなった」と感じることはありますか？【必ず回答（1つ選択）】**

ある

ない

**Q10. 保険適用になって「良くなった」と感じることはどれですか？【必ず回答（複数選択）】**

心理的に治療が始めやすくなった

経済的に治療が始めやすくなった

支払う医療費が少なくなった

不妊や不妊治療の社会への認知や、理解が広まった

仕事と両立しやすくなった

医療機関が選びやすくなった

地域（都会や地方）間による、治療の格差がなくなった

その他（コメント記入は必須）

**Q11. 保険適用になって「悪くなった」と感じることはありますか？【必ず回答（1つ選択）】**

ある

ない

**Q12. 保険適用になって「悪くなった」と感じることはどれですか？【必ず回答（複数選択）】**

経済的負担が大きくなった（その理由を教えてください）（コメント記入は必須）

希望する検査や治療が受けられなくなった（具体的な検査名や治療名を教えてください）

（コメント記入は任意）

使えなくなった薬など、治療の選択肢が狭まった（具体的に教えてください）（コメント記入は任意）

治療の質が下がったと感じる（具体的に教えてください）（コメント記入は任意）

保険適用の範囲がわかりづらい

保険適用外の診療費が上がった

医療機関が混雑して、待ち時間が増えた

待ち時間が増えたため、仕事との両立が難しくなった

その他（コメント記入は必須）

**Q13. 体外受精や顕微授精をしている方で、注射やエコーは自宅近辺の医療機関で、採卵や胚移植は遠方の不妊専門クリニックでしていますか？【必ず回答（1つ選択）】**

はい

いいえ

Q14. 体外受精や顕微授精の注射やエコーは自宅近辺の医療機関で、採卵や胚移植は遠方の不妊専門クリニックでして、お困りごとがあれば教えてください。(文字数制限はありません)(お困りごとがない場合は、次にお進みください)

Q15. 保険適用後の診療待ち時間に、変化はありましたか?【必ず回答(1つ選択)】

すごく増えた

少し増えた

変化はない

少し減った

かなり減った

Q16. 保険適用には制限があります。現在は、「体外受精/顕微授精」は女性の年齢が治療開始時点で43歳未満、「胚移植」は女性の年齢が40歳未満は1子につき6回まで、40歳以上43歳未満は1子につき3回までです。この現状に対して、あなたの考えに当てはまるものはどれですか(○→賛成、×→反対)【必ず回答(1つ選択)】

年齢制限→○、回数制限→○

年齢制限→○、回数制限→×

年齢制限→×、回数制限→○

年齢制限→×、回数制限→×

Q17. 保険適用をきっかけに転院されましたか?あるいは転院を予定されていますか?【必ず回答(1つ選択)】

転院した(理由を教えてください)(コメント記入は任意)

転院を考えている(迷っている)

転院していない(理由を教えてください)(コメント記入は任意)

Q18. 今後の保険診療に望むことがありましたら、教えてください。【必ず回答(複数選択)】

回数制限の緩和(コメント記入は任意)

年齢制限の緩和(コメント記入は任意)

医療機関ごとの成績開示(具体的な成績名を教えてください)(コメント記入は任意)

国の助成金制度の再開(コメント記入は任意)

混合診療の解禁(コメント記入は任意)

保険適用になってほしい薬剤(具体的な薬剤名を教えてください)(必須)

保険適用になってほしい治療(具体的な治療名を教えてください)(必須)

特にない

その他（コメント記入は必須）

**Q19. Fine のアンケートに回答するのは何回目ですか？【必ず回答（1つ選択）】**

初めて

2回目

3回目以上

わからない

**Q20. このアンケートはどこで知りましたか？【必ず回答（複数選択）】**

Twitter（どなたのか、教えてください）（コメント記入は任意）

Facebook（どなたのか、教えてください）（コメント記入は任意）

ブログ（どなたのか、教えてください）（コメント記入は任意）

Fine のウェブサイトをいつもチェックしていて見つけた

Fine の Twitter

Fine の Facebook

Fine のブログ

その他

あてはまるものがない

**Q21. 性別を教えてください。【必ず回答（1つ選択）】**

男性

女性

その他

回答しない

**Q.22 年齢【必ず回答（1つ選択）】**

～19 歳

20～24 歳

25～29 歳

30～34 歳

35～39 歳

40～44 歳

45～49 歳

50～54 歳

55～59 歳

60～64 歳

65～69 歳

70 歳～

**Q.23 都道府県【必ず回答（1つ選択）】**

ご協力ありがとうございました。